

平成29年度江南市水道事業会計補正予算（第1号）

（総則）

第1条 平成29年度江南市水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出の補正）

第2条 平成29年度江南市水道事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
支 出			
第1款 水道事業費用	1,324,550 千円	△ 4,018 千円	1,320,532 千円
第1項 営業費用	1,291,693 千円	△ 4,018 千円	1,287,675 千円

（資本的収入及び支出の補正）

第3条 予算第4条本文括弧書中「633,941千円は、過年度分損益勘定留保資金557,772千円」を「631,333千円は、過年度分損益勘定留保資金555,164千円」に改め、資本的支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
支 出			
第1款 資本的支出	996,472 千円	△ 2,608 千円	993,864 千円
第1項 建設改良費	885,646 千円	△ 2,608 千円	883,038 千円

（議会の議決を経なければ流用することのできない経費の補正）

第4条 予算第8条に定めた経費の金額を次のように改める。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
職員給与費	108,178 千円	△ 6,648 千円	101,530 千円

平成29年11月30日提出

江南市長 澤田 和延

平成29年度江南市水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出

支出

[単位:千円]

款	項	目	補正前の額	補正額	計
1 水道事業費			1,324,550	△ 4,018	1,320,532
	1 営業費用		1,291,693	△ 4,018	1,287,675
		1 原水及び浄水費	530,156	△ 3,594	526,562
		2 配水及び給水費	114,012	△ 281	113,731
		4 業務費	97,469	147	97,616
		5 総係費	55,838	△ 290	55,548

資 本 的 収 入 及 び 支 出

支 出

[単位:千円]

款	項	目	補正前の額	補正額	計
1 資 本 的 支 出			996,472	△ 2,608	993,864
	1 建設改良費		885,646	△ 2,608	883,038
		1 事 務 費		73,878	△ 2,608

平成29年度江南市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

[単位：千円]

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	95,821
減価償却費	445,021
固定資産除却費	36,000
引当金の増減額 (△は減少)	△ 1,269
長期前受金戻入額	△ 120,495
受取利息及び受取配当金	△ 1
支払利息	29,356
未収金の増減額 (△は増加)	△ 5,537
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 1,513
未払金の増減額 (△は減少)	927
小計	478,310
利息及び配当金の受取額	1
利息の支払額	△ 29,356
業務活動によるキャッシュ・フロー	448,955
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 658,412
有形固定資産の売却による収入	2
分担金及び負担金による収入	184,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 474,099
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	143,500
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 108,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,674
資金増加額 (又は減少額)	9,530
資金期首残高	1,217,371
資金期末残高	1,226,901

給 与 費 明 細 書

1 一般職

(1) 総括

区分		職員数(人)	給与費		
			給料	手当	計
補正後	損益勘定支弁職員	11	34,622	24,977	59,599
	資本勘定支弁職員	5	14,397	9,859	24,256
	合計	16	49,019	34,836	83,855
補正前	損益勘定支弁職員	11	36,639	26,514	63,153
	資本勘定支弁職員	5	15,316	11,405	26,721
	合計	16	51,955	37,919	89,874
比較	損益勘定支弁職員		△ 2,017	△ 1,537	△ 3,554
	資本勘定支弁職員		△ 919	△ 1,546	△ 2,465
	合計		△ 2,936	△ 3,083	△ 6,019

手当の内訳	区分	管理職手当	扶養手当	地域手当
	補正後	2,259	1,958	3,196
	補正前	2,262	1,512	3,346
	比較	△ 3	446	△ 150
	区分	期末手当	勤勉手当	児童手当
	補正後	9,669	6,243	930
	補正前	10,387	7,145	720
	比較	△ 718	△ 902	210

[単位:千円]

法定福利費	合計	備考
12,088 賃金分を含む [12,940]	71,687 [72,539]	
4,735	28,991	
16,823 賃金分を含む [17,675]	100,678 [101,530]	
12,517 賃金分を含む [13,426]	75,670 [76,579]	
4,878	31,599	
17,395 賃金分を含む [18,304]	107,269 [108,178]	
△ 429 賃金分を含む [△486]	△ 3,983 [△4,040]	
△ 143	△ 2,608	
△ 572 賃金分を含む [△629]	△ 6,591 [△6,648]	

住居手当	通勤手当	時間外勤務手当
1,077	416	4,341
1,584	390	5,487
△ 507	26	△ 1,146
管理職員特別勤務手当	賞与引当金繰入額	
12	4,735	
12	5,074	
	△ 339	

(2) 給料及び手当の増減額の明細

区分	増減額	増減事由別内訳		説明
給 料	△ 2,936	異動等に伴う増減分	△ 2,936	
手 当	△ 3,083	異動等に伴う増減分	△ 3,083	

[単位:千円]

備考					
管理職手当	△ 3	通勤手当	26	児童手当	210
扶養手当	446	時間外勤務手当	△ 1,146	賞与引当金繰入額	△ 339
地域手当	△ 150	期末手当	△ 718		
住居手当	△ 507	勤勉手当	△ 902		

(3) 給料及び手当の状況

ア 職員1人当たりの給与

区分		一般事務職
平成29年10月1日現在	平均給料月額	255,296円
	平均給与月額	323,667円
	平均年齢	38歳
平成28年10月1日現在	平均給料月額	298,287円
	平均給与月額	371,180円
	平均年齢	40歳

ウ 級別職員数

区分		一般事務職	
		職員数	構成比
平成29年10月1日現在	1級	3 人	18.7 %
	2級	7	43.7
	3級	2	12.4
	4級	1	6.3
	5級	1	6.3
	6級	1	6.3
	7級	1	6.3
	8級		
	計	16	100.0
平成28年10月1日現在	1級	3 人	18.7 %
	2級	4	24.9
	3級	3	18.7
	4級	2	12.5
	5級	1	6.3
	6級	1	6.3
	7級	1	6.3
	8級	1	6.3
	計	16	100.0

()内は、再任用短時間勤務職員であり、外書きしています。

(級別の標準的な職務内容)

区分	1級	2級	3級	4級	5級
一般行政職	書記	主事	主任	主査	副主幹

区分	6級	7級	8級
一般行政職	主幹	統括幹・課長	参事・部長

イ 初任給

区分	学歴	一般事務職	一般会計の制度
			一般事務職
平成29年4月1日	高校卒	146,100円	146,100円
	大学卒	178,200円	178,200円

エ 昇給

区分	補正後		補正前	
	一般事務職		一般事務職	
職 員 数(A)	16 人		16 人	
昇給に係る職員数(B)	13 人		12 人	
号給数別内訳	2号給	1 人	1 人	
	4号給	12 人	11 人	
	6号給	人	人	
	8号給	人	人	
	1号給	人	人	
	3号給	人	人	
比率(B)／(A)	81.25 %		75.00 %	

オ 期末手当、勤勉手当

区分		支給率		一般会計の制度	
支 給 期 別 支給率	6月	2.075	月分	2.075	月分
	12月	2.225	月分	2.225	月分
	計	4.30	月分	4.30	月分
職制上の段階、 職務の級等による加算措置		有		有	
備 考		一般会計の制度に同じ			

カ その他の手当

区分	一般会計の制度との異同	差異の内容
扶養手当	同じ	
地域手当	同じ	
住居手当	同じ	
通勤手当	同じ	

平成29年度江南市水道事業予定貸借対照表
(平成30年3月31日)

[単位：千円]

		資 産 の 部	
1	固 定 資 産		
(1)	有形固定資産		
	イ 土地		240,387
	ロ 建物	230,857	
	減価償却累計額	△ 155,025	75,832
	ハ 構築物	17,380,335	
	減価償却累計額	△ 8,755,523	8,624,812
	ニ 機械及び装置	1,924,530	
	減価償却累計額	△ 1,123,901	800,629
	ホ 車両運搬具	12,204	
	減価償却累計額	△ 11,149	1,055
	ヘ 工具器具及び備品	10,808	
	減価償却累計額	△ 10,268	540
	ト 建設仮勘定		334,078
	有形固定資産合計		10,077,333
(2)	無形固定資産		
	イ 電話加入権		1,392
	ロ 電気通信施設利用権		3
	無形固定資産合計		1,395
	固定資産合計		10,078,728
2	流 動 資 産		
(1)	現金預金		1,226,901
(2)	未収金		273,048
	貸倒引当金	△ 1,500	271,548
(3)	貯蔵品		1,293
	流動資産合計		1,499,742
	資産合計		11,578,470

負 債 の 部

3	固定負債		
	企業債		
	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	1,299,966	
	企業債合計	<u>1,299,966</u>	1,299,966
	固定負債合計		1,299,966
4	流動負債		
	(1) 企業債		
	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	111,304	
	企業債合計		111,304
	(2) 未払金		241,040
	(3) 引当金		
	賞与引当金	7,907	
	引当金合計		7,907
	(4) 預り金		1,766
	(5) その他流動負債		2,000
	流動負債合計		<u>364,017</u>
5	繰延収益		
	長期前受金		5,660,460
	長期前受金収益化累計額	△ 2,439,115	
	繰延収益合計		<u>3,221,345</u>
	負債合計		<u>4,885,328</u>
		資 本 の 部	
6	資本金		
	イ 固有資本金	19,946	
	ロ 出資金	1,182,247	
	ハ 組入資本金	4,700,114	
	資本金合計		5,902,307
7	剰余金		
	(1) 資本剰余金		
	イ 負担金	196,744	
	ロ 受贈財産評価額	50,749	
	ハ 分担金	110,793	
	資本剰余金合計		358,286
	(2) 利益剰余金		
	当年度未処分利益剰余金	432,549	
	利益剰余金合計		<u>432,549</u>
	剰余金合計		<u>790,835</u>
	資本合計		<u>6,693,142</u>
	負債資本合計		<u><u>11,578,470</u></u>

注記

I 重要な会計方針

1 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券 原価法

2 たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法

3 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法 定額法（ただし、取替資産については取替法による。）

・主な耐用年数

建物 24～50年

構築物 10～40年

機械及び装置 6～20年

車両運搬具 4～5年

工具器具及び備品 5～15年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法 定額法

・主な耐用年数

電気通信施設利用権 20年

4 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

一般会計の負担により計上しない。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給、及びこれに係る法定福利費の支出に備えるため、当該事業年度末における支給見込額に基づき、翌年度の支給見込額のうち当該年度の負担に属する額を計上している。

資本勘定支弁職員の引当金2,156千円については、資産の取得価額に加えることにより計上し、後年度当該資産の減価償却費として費用化することとし、引当金計上時には費用処理しない。

(3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

5 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

II リース契約により使用する固定資産

1 リース会計に係る特例措置

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借に係る方法に準じた会計処理によっている。

2 賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年内	4,252,176円
1年超	2,768,688円
計	7,020,864円

III その他の注記

引当金の取崩し

(1) 賞与引当金

平成29年度において、期末手当、勤勉手当として20,133千円を支給、及びこれに係る法定福利費として3,697千円を支出する予定であるため、賞与引当金を損益勘定支弁職員分として5,028千円、資本勘定支弁職員分として1,992千円取り崩す。

(2) 貸倒引当金

平成29年度において、債権の不納欠損による損失を2,000千円計上する見込みであるため、貸倒引当金2,000千円を取り崩すこととする。

平成29年度江南市水道事業会計補正予算事項別明細書

収益的収入及び支出

支出

1款 水道事業費用

科 目			補正前の額	補 正 額	計	節		
款	項	目				区 分	金 額	
1	水道事業費用		1,324,550	△ 4,018	1,320,532			
	1	営業費用	1,291,693	△ 4,018	1,287,675			
		1	原水及び浄水費	530,156	△ 3,594	526,562	1 給 料	△ 1,760
						2 手 当	△ 994	
						3 賞与引当金 繰 入 額	△ 284	
						6 法定福利費	△ 556	
		2	配水及び給水費	114,012	△ 281	113,731	2 手 当	△ 278
						3 賞与引当金 繰 入 額	18	
						6 法定福利費	△ 21	

説		明
事	業	備 考
〔人件費等〕	△ 3,594	
1 給料	△ 1,760	
2 手当	△ 994	
扶養手当	58	
地域手当	△ 102	
時間外勤務手当	△ 156	
期末手当	△ 489	
勤勉手当	△ 305	
3 賞与引当金繰入額	△ 284	
賞与引当金繰入額	△ 238	
法定福利費引当金繰入額	△ 46	
6 法定福利費	△ 556	
職員共済組合負担金		
〔人件費等〕	△ 267	
2 手当	△ 278	
時間外勤務手当	△ 249	
勤勉手当	△ 29	
3 賞与引当金繰入額	18	
賞与引当金繰入額	16	
法定福利費引当金繰入額	2	
6 法定福利費	△ 7	
職員共済組合負担金		
〔配水管等維持管理事業〕	△ 14	
・給配水設備維持管理事業		
6 法定福利費		
社会保険料	△ 10	
労働保険料	△ 4	

支 出

1款 水道事業費用

科 目			補正前の額	補 正 額	計	節	
款	項	目				区 分	金 額
		4 業務費	97,469	147	97,616	2 手 当	14
						3 賞与引当金 繰 入 額	14
						6 法定福利費	119
		5 総係費	55,838	△ 290	55,548	1 給 料	△ 257
						2 手 当	60
						3 賞与引当金 繰 入 額	△ 40
						6 法定福利費	△ 75
						33 負 担 金	22

説		明
事	業	備 考
[人件費等]	147	
2 手当	14	
勤勉手当		
3 賞与引当金繰入額	14	
賞与引当金繰入額	13	
法定福利費引当金繰入額	1	
6 法定福利費	119	
職員共済組合負担金		
[人件費等]	△ 267	
1 給料	△ 257	
2 手当	60	
管理職手当	△ 3	
扶養手当	408	
地域手当	9	
時間外勤務手当	△ 88	
期末手当	26	
勤勉手当	△ 422	
児童手当	130	
3 賞与引当金繰入額	△ 40	
賞与引当金繰入額	△ 130	
法定福利費引当金繰入額	90	
6 法定福利費	△ 52	
職員共済組合負担金	△ 32	
社会保険料	△ 18	
労働保険料	△ 2	
33 負担金	22	
人件費負担金		
[企業会計管理事業]	△ 23	
・企業会計経理事務		
6 法定福利費		
社会保険料	△ 18	
労働保険料	△ 5	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

支 出

1款 資本的支出

科 目			補正前の額	補 正 額	計	節		
款	項	目				区 分	金 額	
1	資本的支出		996,472	△ 2,608	993,864			
	1	建設改良費	885,646	△ 2,608	883,038			
		1	事務費	73,878	△ 2,608	71,270	1 給 料	△ 919
						2 手 当	△ 1,546	
						6 法定福利費	△ 143	

説		明
事	業	備 考
【人件費等】	△ 2,608	
1 給料	△ 919	
2 手当	△ 1,546	
扶養手当	△ 20	
地域手当	△ 57	
住居手当	△ 507	
通勤手当	26	
時間外勤務手当	△ 653	
期末手当	△ 255	
勤勉手当	△ 160	
児童手当	80	
6 法定福利費	△ 143	
職員共済組合負担金		